

京都市立工業高校が発展するための具体的展望と将来のあり方を検討

「京都市立工業高校将来構想委員会」の「最終まとめ」提出について

「ものづくり都市・京都」、さらには「技術立国・日本」を支える人材を数多く輩出してきた京都市立洛陽工業高校及び伏見工業高校における改革のさらなる推進を目指し、諮問内容について幅広い観点からの審議を行っていただくため、平成23年6月に「京都市立工業高校将来構想委員会」（以下、「本委員会」という。）を設置しました。

本委員会においては、この間、公開の検討会議を8回、先進事例視察を1回実施するとともに、およそ3週間に及ぶ市民意見募集では138件もの貴重な御意見が寄せられるなど、多角的な観点から精力的に検討いただきました。

このたび、これらの検討結果を本委員会の「最終まとめ」として、松重和美座長（京都大学名誉教授・龍谷大学特別任用教授）から教育長に提出いただきます。

1 日 時

平成24年12月25日（火）午後1時から（1時間程度）

2 場 所

京都市役所本庁舎4階 教育長室

3 「最終まとめ」の概要

- 第1章 市立工業高校に対する基本認識
- 第2章 次代の「ものづくり」の担い手を育むために
市立工業高校で将来を見据え育むべき資質や能力、ものづくりへの意欲・興味関心の高い生徒の確保、産学連携・高大連携による教職員のスキルアップ
- 第3章 今後の「ものづくり」を見据えた市立工業高校のあり方
市立工業高校が将来的に担うべき機能、大学進学希望者へのニーズへの呼応、特色ある取組や部活動の推進、「市立工業高校スピリット」の継承
- 第4章 市立工業高校の施設・設備と学校規模
施設・設備のあり方、市立工業高校の学校規模、施設・設備の整備手法

<参考>京都市立工業高校将来構想委員会について

1 諮問内容

- 「京都市立工業高校のあり方に関する検討プロジェクト」における「まとめ」で示された方向性をより具体化するための方策
- 上記の方策や生徒・保護者・産業界等のニーズを見据えた今後の学校規模と施設整備のあり方

2 構成メンバー

◎：座長

（敬称略：五十音順に記載）

氏 名	役 職 等	備 考
池垣 伊三郎	京都市立伏見工業高等学校同窓会 会計	
尾河 清二	洛陽京工会 副会頭	
奥 美 里	京都市文化市民局 文化芸術都市推進室長	
高倉 章雄	京都工芸繊維大学 名誉教授	
高橋 智隆	ロボットクリエイター (株) ロボ・ガレージ代表取締役社長	
竹川 貴博	市民公募委員	

中山 誠	市民公募委員	
名高 新悟	京都機械金属中小企業青年連絡会 前代表幹事	
林 倫子	立命館大学理工学部 助教	平成24年4月～
廣瀬 忠愛	京都市立中学校長会 副会長	～平成24年3月
福本 早苗	武庫川女子大学 生活環境学部 教授	
◎松重 和美	京都大学名誉教授・龍谷大学特別任用教授	
水田 真紀	立命館大学理工学部 助教	～平成24年3月
向井仲 和美	京都経営者協会 前専務理事	
村上 幸一	京都市立中学校長会 会計	平成24年4月～

<専門委員>

(敬称略：五十音順に記載)

氏名	役職等	備考
荒瀬 克己	京都市教育委員会事務局 教育企画監	平成24年4月～
生田 義久	京都市教育委員会事務局 教育政策監	～平成24年3月
恩田 徹	京都市立洛陽工業高等学校 校長	
道越 隆夫	京都市立伏見工業高等学校 校長	

3 開催経過

回数	日程	内容
第1回	平成23年 8月25日	○ 教育長諮問 ○ 市立工業高校の現状等に関する協議 ○ 市立伏見工業高校の施設見学
第2回	11月10日	○ 工業高校において育てるべき力に関する協議 ○ 市立洛陽工業高校の施設見学
第3回 【視察】	12月22日	○ 神戸市立科学技術高校・神戸工科高校の視察
第4回	平成24年 2月23日	○ 工業高校において育てるべき力に関する協議 ○ 施設設備の方向性に関する協議
第5回	4月24日	○ 施設設備の方向性に関する協議 ○ 適正な学校規模に関する協議
第6回	6月14日	○ 施設整備のあり方に関する協議 ○ 適正な学校規模に関する協議
第7回	8月 1日	○ 中間まとめに向けた議論の整理
第8回	9月24日	○ 「中間まとめ(案)」に関する協議
	10月22日～ 11月12日	○ 市民意見募集
第9回	12月11日	○ 市民意見募集で寄せられた意見の確認 ○ 「最終まとめ(案)」について

※開催経過の詳細については以下をご参照ください。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/page/0000126496.html>